

グローバル社会で生きるって

所属	名古屋市立菊里高等学校	実践者	川口 茉莉 (G)
対象	高校2年生	時間数	3時間
場所	教室	実践教科	英語
ねらい	<p>①自国の文化を振り返り、自分がすでに持っている日本文化に対する認識や価値観を見つめなおすとともに、異文化を知ること、文化背景を異とする人々と、お互いの文化の違いを尊重しながら相互理解を図り、協力関係を築くことができるようにする。また世界の多様性を知り、多様な人に出会うことの楽しさを実感する。</p> <p>②世界のグローバル化やボーダレス化が進む中、温暖化、食糧不足、人口爆発といった地球規模の様々な問題が出現している。地球的視野を持ち、地球規模の諸問題を自らの問題としてとらえ、主体的に考え、解決にむけ行動できる資質・能力・態度を育成する。</p> <p>③グローバル化の時代を生きていくことや国際協力の在り方について考える。</p>		
実践内容	回	プログラム	備考
	0	事前アンケート（教師海外研修前） ガーナについて知っていること、地理で習って知ったことを確認。	
	1	「ガーナについて知ろう」 ①ガーナクイズ ②ガーナ人になりきってみる。 ③ ガーナのものに触れる。	パワーポイント 実物(チョコレートなど)
	2	「世界の環境問題を知り、解決策を考えよう」 ①教科書の内容を理解する。(今回の実践外) ②火星のテラフォーミングについて、討論を行う。 ③絵の半分が白紙になっている環境問題を考える漫画を完成させる。 ④日本および世界の環境問題について知り、改善策を考える。 ⑤再度、火星のテラフォーミングについて、討論を行う。	教科書 国際理解教育教材マンガ A4用紙
	3	「世界のために働くことを考えよう」 ①教科書の内容を理解する。(今回の実践外) ②地雷を撤去するために、生徒たち自身ができることを考え、意見を述べさせた。 ③ガーナで活躍する JICA ボランティア、専門家を動画で紹介し、寄付に頼らない国際協力の在り方を考えさせた。 ④国際協力はどうあるべきかについてエッセイを書く。 ⑤グループで意見を共有。	教科書 ガーナで活躍する日本人を紹介する動画 A4用紙
成果	海外には興味がない、英語を勉強するのは大学受験のためと答える生徒が最初は非常に多かったが、少しずつ海外に行ってみたい、国際協力の現場に携わりたいといってくれる生徒が出てきた。ガーナに対するステレオタイプや世界の課題が自身と関わっていることに気づき、世界で起こっている問題を解決するには、私たち自身が変わらなければならないということに気づいた。		
課題	今年度は年間を通じた長期計画による活動ではなく、教科書に関連づけて取り組んだので、単発の活動になってしまった。		
備考	1.「ガーナについて知ろう」については音楽科3年に対しても実施。		

[授業実践の詳細]

1 時限目「ガーナについて知ろう」

1 子どもの活動の流れ

- ① ガーナクイズ…パワーポイントを利用して、ガーナの位置、野口英世とガーナの関わり、生活、食事、カカオ、チョコレート、気候、主な輸出品、奴隷貿易の真実などについて学んだ（パワーポイント 16 枚で作成）〈教材 1、2、4〉。
- ② ガーナ人になりきってみる…ダンボールの中に本を 5 冊入れた状態で、頭の上に乗せ、歩くことができるかに挑戦した。〈教材 3〉ガーナで作られているチョコレートを味わい、日本のチョコレートとの違いを学んだ。〈教材 5〉
- ③ ガーナのものに触れる…カカオの種に触れたり、実際に噛んでみたりして味を確かめてみる〈教材 6〉。ガーナのお金を見せる〈教材 7〉。動画で中学生が踊るガーナのダンスを見た。〈教材 8〉

この時限のねらい

- ①身近でないガーナについて知り、途上国の豊かさや今後の発展の可能性を知る。
- ②ガーナに対するステレオタイプを取り除く。

2 子どもの活動の成果・反応

- ◇ 実物や写真を使ったことで、生徒たちは興味深く話を聞くことができた。体験も、積極的にやりたいという声があがった。その結果、ガーナをより身近に感じる事ができた。
- ◇ ガーナは「貧しい」、「カカオの生産国」程度のイメージしか持っていなかった生徒たちに一歩踏み込んだ理解をする機会を与えることができた。



3 使用した教材

〈教材 1〉平成 25 年度教師海外研修受講者が収集した写真 で作成したパワーポイントスライド(上写真)

〈教材 2〉1000 円札(1000 円札を見せながら野口英世とガーナとの関わりについてクイズを作成)

〈教材 3〉ダンボール箱(体験風景・下左写真)

〈教材 4〉とうほう発行地理資料 2013

〈教材 5〉ガーナのお土産(チョコレート)

〈教材 6〉カカオの種(試食風景・下右写真)



〈教材 7〉ガーナのお金

〈教材 8〉平成 25 年度教師海外研修受講者が撮影した動画

2 時限目「世界の環境問題を知り、解決策を考えよう」

1 子どもの活動の流れ

- ① 教科書の題材を理解する(今回の実践外)…本課は、地球と もっとも似ていると言われる惑星、火星にスポットをあて、「テラフォーミング(惑星地球化計画)」を火星に施す方法について述べられている。火星にテラフォーミングを施す方法として、教科書で扱っているのは温室効果ガスを大量に発生させて火星の気温を上げ、地中の氷を溶かそうというものである。氷が溶けて水や水蒸気になれば、それは大量の雨となって大地に降り注ぐ。結果、火星に海ができる。〈教材9〉
- ② 火星のテラフォーミングに賛成か反対かをペアで話す。その後、クラス全体で意見を共有した。
- ③ 「国際理解教育教材マンガジア」の漫画(都市の煙突や汚れた川の部分を消したものを)を配布し、グループで隠された部分を想像して書き加えた。その後、全体像のマンガを配布した。〈教材10〉
- ④ マンガ以外の日本の環境問題を取り上げ、原因および解決策を考える。4人ずつのグループで知っている環境問題を挙げ、その後解決策も考えた。最後に、クラス全体で共有した。
- ⑤ 世界の環境問題(ゴミ、水不足、人口過剰)を紹介(一部ガーナで撮影した写真も使用)し、解決策を考えた。〈教材11〉
- ⑥ 人口過剰はわかりにくいようだったので、補足説明を加えた。発展途上国での人口過剰がどのような問題につながるのかを説明。ガーナの児童労働や教育問題にも触れた。
- ⑦ 地球上での問題点、解決策を学んだうえで、火星のテラフォーミングが必要かどうかをもう一度ペアで話合った。

この時限のねらい

- ①自分たちの身近なところに存在する環境問題について学び、自分たちの責任を認識するとともに、改善策を考える。
- ②発展途上国特有の環境問題を知り、解決には何が必要かを考える。

2 子どもの活動の成果・反応

- ◇ 環境問題に対する解決策を検討することで、生徒たち自身の問題ととらえ、自分たちでもできることがあるということに気づくことができた。
- ◇ 人口過剰について学ぶことで、それに付随する発展途上国で起こる問題についても理解を深めることができた。
- ◇ 環境問題をグローバル社会全体の問題としてとらえ、当事者意識を持ってこの問題に向き合えるようになった。

3 使用した教材

- 〈教材9〉Crown English Series II (英Ⅱ教科書)Lesson5
- 〈教材10〉(公財)名古屋国際センター・独立行政法人国際交流基金『国際理解教育教材マンガジア』(右写真)
- 〈教材11〉平成25年度教師海外研修受講者が収集した写真



3 時限目「世界のために働くことを考えよう。」

1 子どもの活動の流れ

- ① 教科書の題材を理解する(今回の実践外)…本課では、2001年4月30日にTBSで放映されたテレビ番組「地雷 ZERO キャンペーン」を題材に、悪魔の兵器と称される地雷の恐ろしさを知るとともに、埋設地雷の除去活動や地雷の使用そのものを止めようと活動を行っている人や組織について理解した。テレビ番組の録画も見、カンボジアで地雷の被害にあい、足を失った少女がどんなに困難な生活をしいられているのかを知った。〈教材12〉
- ② 地雷を撤去するために、生徒たち自身ができることを考え、意見を述べさせた。
- ③ ガーナで活躍する JICA ボランティア、専門家を動画で紹介し、寄付に頼らない国際協力の在り方を考えさせた。〈教材13〉
- ④ 「発展途上国の人々を手助けすることは重要だと思いますか。例を用いてあなたの意見を述べなさい。」についてエッセイを書き、グループで意見を共有した。

この時限のねらい

- ①自分たちのできる国際協力の在り方について考え、発表する。
- ②青年海外協力隊や JICA の専門家について知る。

2 子どもの活動の成果・反応

◇ 地雷の撲滅について、生徒たちが個人で何をできるかを聞いたときは、「CD “Zero Landmine”(印税と利益が地雷撲滅活動に使われる)を買う」、「お金を寄付する」といった物質的な援助に目がいていたが、動画を見せた後は、自分たちが直接どう援助したらよいかを考えることができるようになった。

3 使用した教材

〈教材12〉Crown English Series II (英 II 教科書) Lesson8

〈教材13〉平成 25 年度教師海外研修参加者が作成した動画「ガーナで国際協力を行う青年海外協力隊・専門家」、「ガーナ・アフリカの「変化」について(天水稲作プロジェクト)」

■ 全体を通して

1 授業の様子

〈写真1〉ガーナクイズを周りと相談

〈写真2〉動画を真剣に見る生徒たち



2 参考文献・資料

- 1) 高根務、山田肖子編著『ガーナを知るための47章』2011年、明石書店
- 2) (公財)愛知県国際交流協会『わたしたちの地球と未来 ガーナ共和国』2011年